

## 「岩谷橋」の架け替えに向けて

～ みんなの思いを込めて 4代目 平成の岩谷橋 ～

県北広域振興局土木部 二戸土木センター

県では、二戸市において、安全で円滑な通行の確保と老朽化に伴う「岩谷橋」の架け替え事業に着手しており、現在、計画・設計を進めています。

計画・設計に当たっては、岩谷橋と周辺のまち並み景観や歴史景観を色濃く残す回廊等との調和を図り、さらに醸成させていくため、景観計画を策定することとしています。

### 【事業概要】

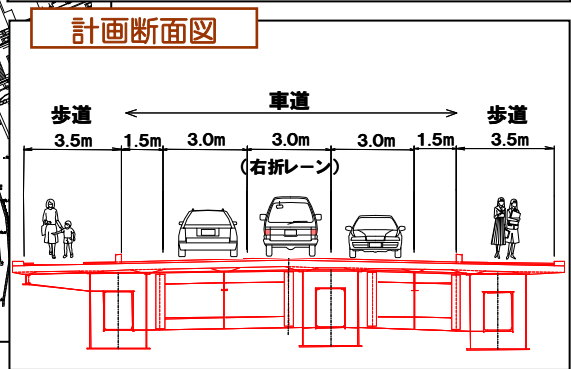
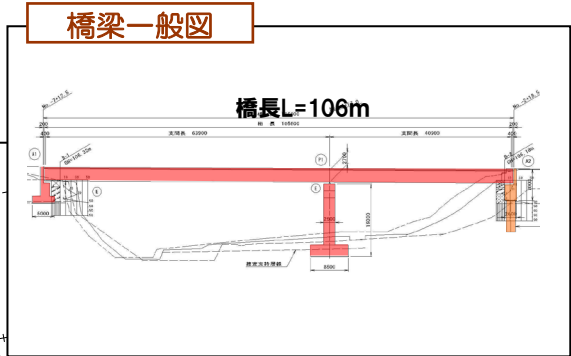
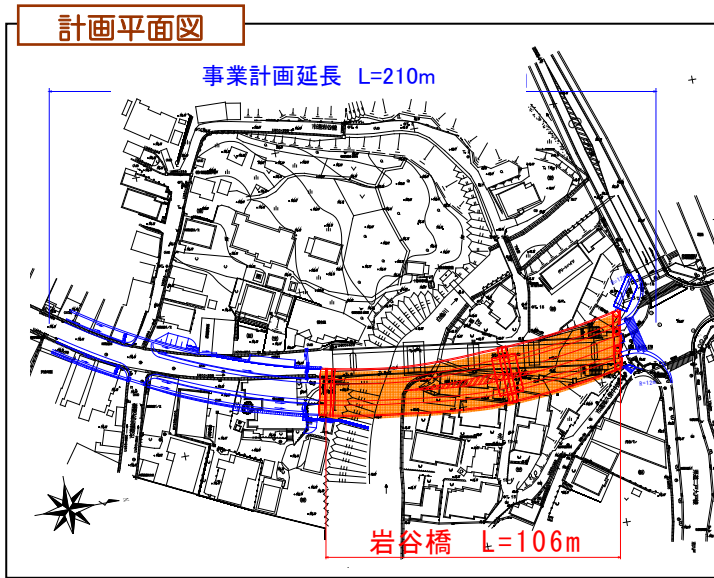
本路線は、二戸市の中心市街地を南北に縦貫する幹線道路であり、沿線には小・中学校や高校等の文教施設のほか市役所・商業施設などが集積しています。

岩谷橋北側の落久保交差点は、二戸市の東西と南北の交通軸が交差する交通量の多い交差点となっています。しかし、この交差点は、変則五叉路であるうえ、食い違い交差であること、そして南側に右折レーンが無いことから朝夕には混雑し、また、歩道も狭小であることから安全で円滑な通行が阻害されている状況となっています。また、岩谷橋は完成から60年以上経過しており老朽化が著しく、早急な架替が求められていました。

このため、本事業により、岩谷橋の架替及び前後道路の線形改良、拡幅、交差点改良を行い、安全で安心な通行空間の確保と都市内道路の機能向上を図るものです。



【計画概要】



【計画・設計における取組】

岩谷橋の計画にあたっては、自然、歴史、文化、風景などの地域資源を活かし、橋梁を主体とした道路の景観計画策定のため、有識者や地元代表者、各関係機関の方々に構成する「岩谷橋景観懇談会」を組織し景観検討を進めています。

また、住民の皆様にも愛着をもっていただけるよう、地域住民の思いや希望を語り合う「岩谷橋景観ワークショップ」を開催し、景観懇談会に報告することとしています。

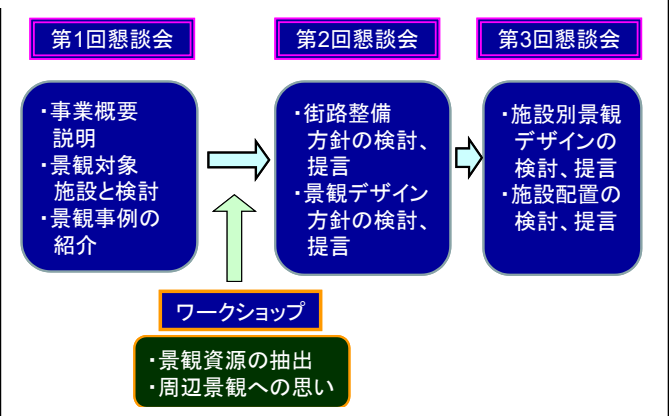
今後、景観懇談会から景観計画に関する提言を受け、橋梁計画・設計をまとめていきます。

【検討のあゆみ】

景観懇談会（第1回）は、昨年12月22日に開催し、検討が始まりました。

また、本年1月21日には、岩谷橋景観ワークショップを開催、地域住民25名が参加し、岩谷橋周辺の景観について、問題点や理想などについてそれぞれの思いを語り合いました。

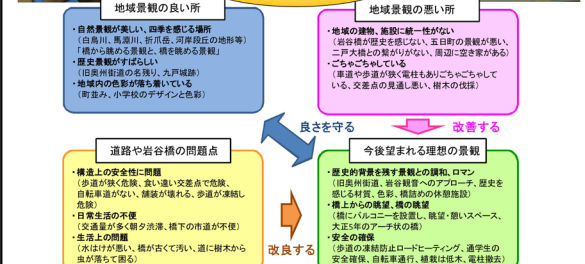
【景観懇談会の流れ】



「岩谷橋景観ワークショップ」ニュース

2012年1月 発行

岩谷橋景観ワークショップが1月21日(土)開催され、住民の方々や関係者約33名が参加し、グループワーク等を行いました。グループワークでは、地域景観の良い所・悪い所、現在の道路・岩谷橋の問題点、今後望まれる理想の景観について、様々な意見の交換を行いました。



岩谷橋景観ワークショップに多数のご参加をいただきありがとうございました。ワークショップで出されました、みなさんの意見は、「岩谷橋景観懇談会」にお知らせし、岩谷橋景観計画(案)の策定に向け、具体的な検討を行っていきます。

参考2

県北広域振興局土木部二戸土木センター (道路整備課) 連絡先 0195-23-9209

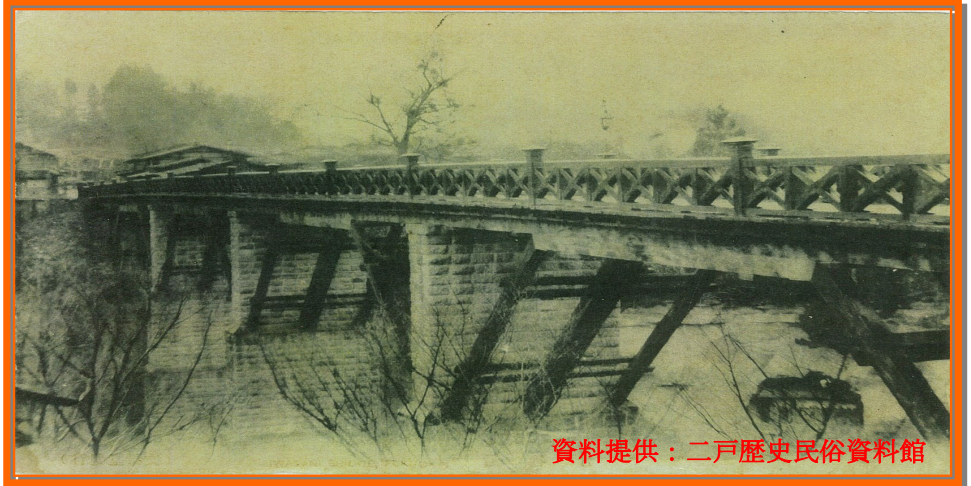
## 岩谷橋の変遷

明治～大正～昭和

### 【明治の岩谷橋】

現岩谷橋の位置に架橋されたのは、明治21年の国道の開通にあわせ建設されたもので、九戸城の外堀を渡るような形で、当時としては非常に画期的なものでした（なお、旧道となった奥州街道の白鳥川に架けられているものが以前の岩谷橋です）。

橋脚には、九戸城の石垣が使われたといわれており、3本の橋脚に支えられた上部は木造で方杖形式のものでした。



資料提供：二戸歴史民俗資料館

### 【大正の岩谷橋】

上部工が朽ちたため、それまでの橋脚を利用し改修となったのは大正5年のこと。上部工は、当時の土木技術が駆使された美しいアーチ形式でした。なお、鋼材が使われた欄干は戦時中に供出され木製へと変わりました。



資料提供：丹野幸男氏

### 【昭和の岩谷橋】

現在の岩谷橋は昭和25年に建設され、上部工は鋼鉄桁＋コンクリート床版に改修されました。

なお、旧岩谷橋の橋脚の一部が使われコンクリートで覆われたといわれています。



現在の岩谷橋

# ～都市計画道路荒瀬上田面線岩谷橋の架け替えが本格化～

## 県北広域振興局土木部二戸土木センター

二戸市の中心市街地に位置する岩谷橋については、「老朽化対策」「歩行空間の確保」「渋滞の緩和」を目的に、平成22年度から事業導入し、これまで主に工事用道路や橋台などを施工してきましたが、この度、橋梁架け替え中の通行を確保するための仮橋が完成し、今年4月に仮橋に通行を切り替えました。

これから本格的に橋梁の架け替えがスタートします。



仮橋供用開始日（H31.4.16）に撮影



仮橋供用開始前（H31.3月）に撮影



仮橋供用開始前（H31.3月）に撮影

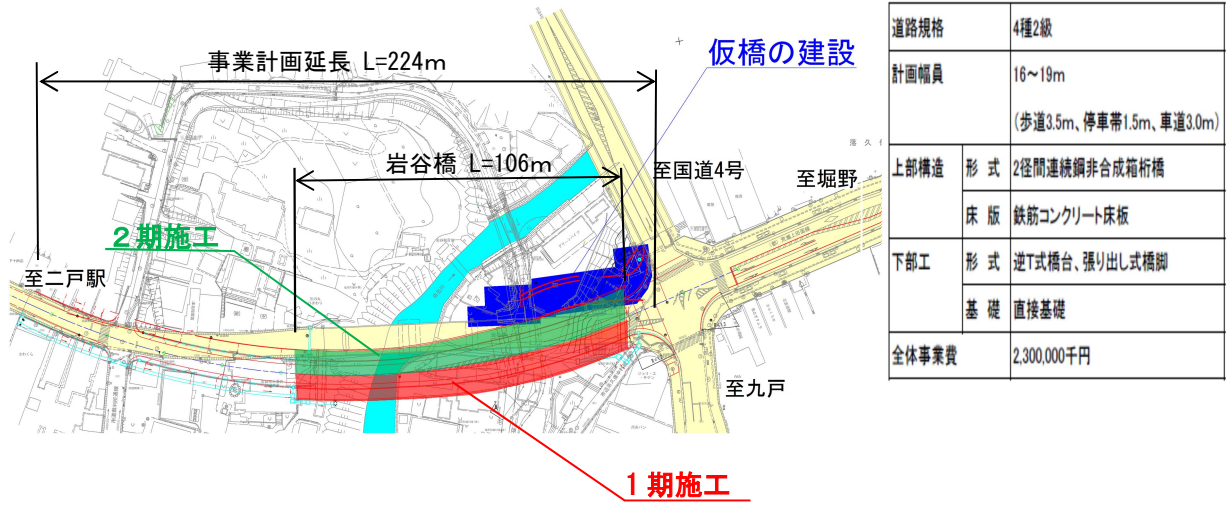
### ◆事業概要及び施工方法

岩谷橋は、昭和25年に完成してから68年が経過していることから老朽化が進んでおり、加えて、岩谷橋が位置する交差点には右折車線がなく、慢性的に渋滞が発生しています。

また、商店街や家屋が立ち並ぶ市街地の交差点手前にあることや、通学路や通勤路として利用され朝夕の渋滞が激しいことから、橋梁架け替えにあたっては、通行止めを極力避ける必要があります。

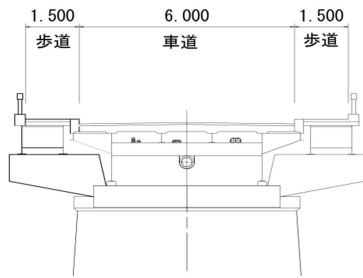


橋梁架け替えの施工方法は、今回の仮橋設置を経て、既設の岩谷橋を撤去しながら、半車線分の新しい橋梁を架けて暫定供用を図り（1期施工）、残り半車線分の橋梁を架ける（2期施工）手順で行います。今年3月には「岩谷橋橋梁上部工製作架設（1期）工事」を発注しました。

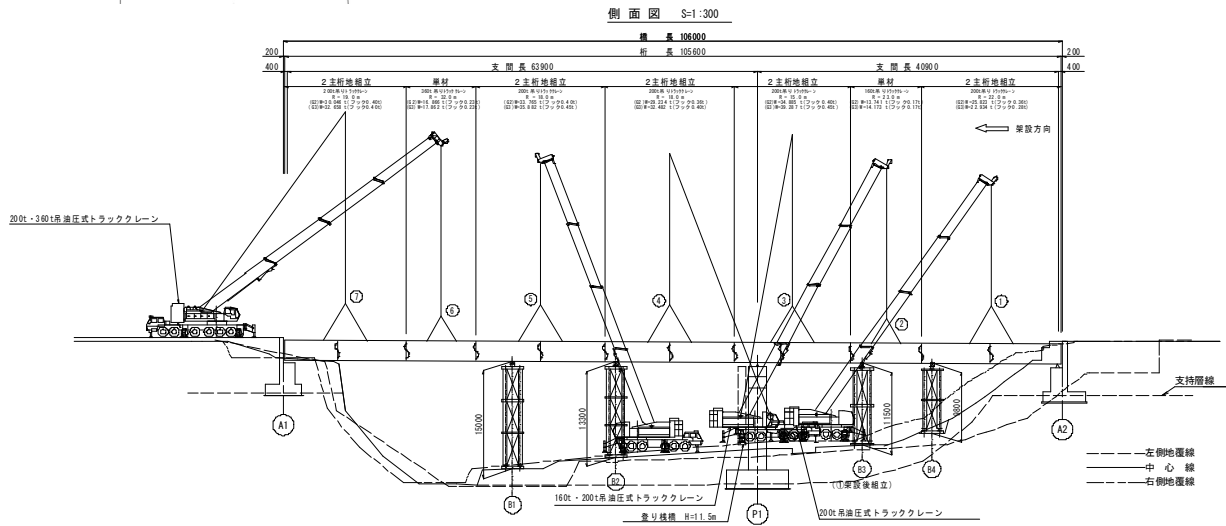
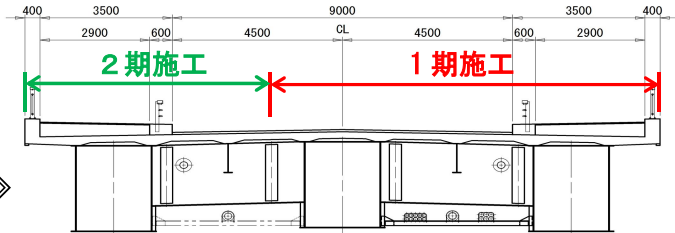


道路規格	4種2級
計画幅員	16~19m (歩道3.5m、停車帯1.5m、車道3.0m)
上部構造	形式 2径間連続鋼非合成箱桁橋
	床版 鉄筋コンクリート床版
下部工	形式 逆T式橋台、張り出し式橋脚
	基礎 直接基礎
全体事業費	2,300,000千円

現在の岩谷橋



完成後



老朽化した岩谷橋の架け替えに併せた道路整備により、「車両の安全な通行」と「安心できる歩行空間の確保」とともに良好な市街地形成が期待されます。令和3年度の完成を目指して全力で推進していきます。

# 都市計画道路荒瀬上田面線 岩谷橋の架替工事が進められています！！

県北広域振興局土木部二戸土木センター

岩谷橋は、二戸市中心部の落久保地区と五日町地区の街並みを結ぶ橋として、また、九戸城や奥州街道など歴史的な遺産に囲まれ、馬淵川や折爪岳など周辺の素晴らしい眺望を楽しめる橋として、明治から現在に至るまで地域に親しまれている橋です。

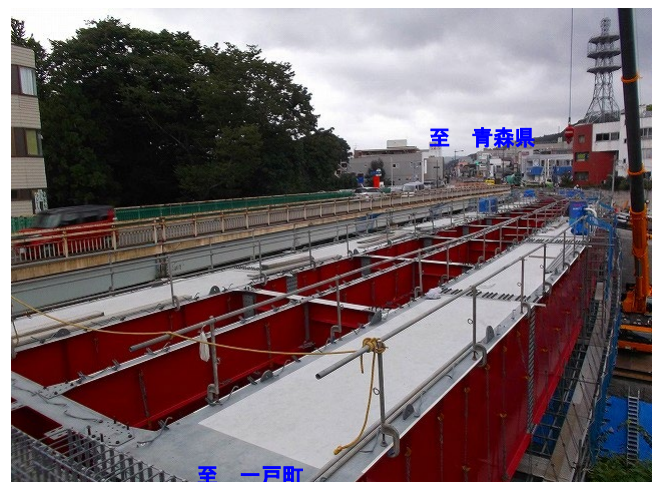
現在の岩谷橋は、国道4号の橋梁として昭和25年に完成してから70年が経過し老朽化が進み、また、歩行者も多いうえに岩谷橋のある交差点は右折車線がなく、慢性的に渋滞が発生していることから、「老朽化対策」「歩行空間の拡大」「渋滞の緩和」を目的として、平成21年度に事業着手し、現在架替工事を進めているところです。

なお、商店街や家屋が立ち並ぶ市街地の交差点手前にあることや、通学路や通勤路として利用され朝夕の渋滞が激しいことから、橋梁架替にあたっては、通行止めを極力避ける必要があります。

橋の架替と併せ前後道路の線形改良と拡幅、交差点改良(右折レーンの設置)を行うことにより、隘路を解消し、安全安心な通行空間の確保と街路としての機能向上が図られます。



令和2年9月23日までの桁の架設状況(クレーン架設完了)



完成までの道のりは長く、**最後には難工事**も待ち受けております。

① 準備

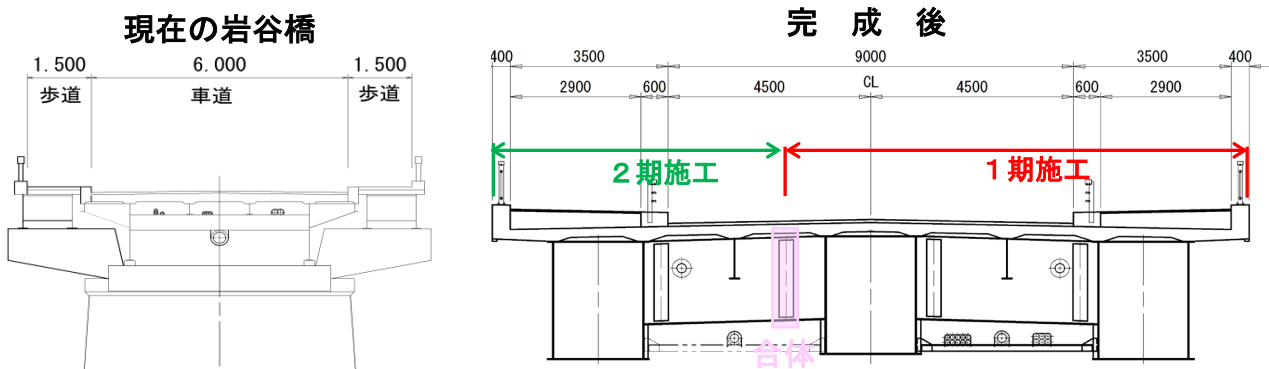
新橋の架設ルートを確認するため市道を拡幅、市橋の架替

② 1期施工(暫定)

新橋の橋脚を設置→仮橋を設置→既設の岩谷橋の一部を撤去→両橋台の半分を設置→半車線分の新しい橋梁を架設→床版と舗装を施工し暫定で供用開始。

③ 2期施工(完成)

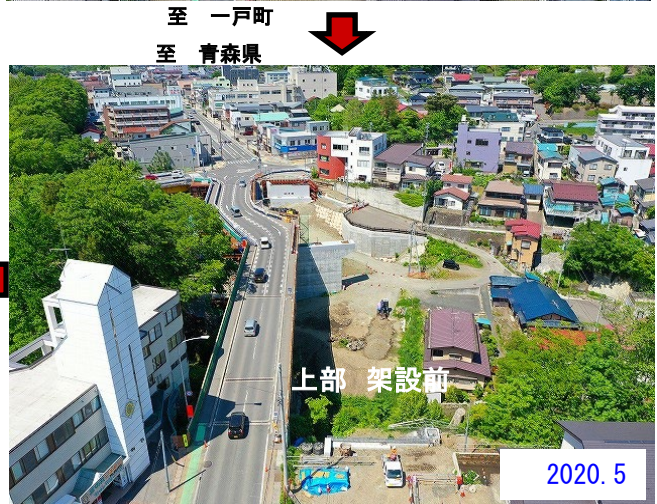
仮橋と既設の岩谷橋の残りを撤去→両橋台の残りを設置→残り半車線分の橋梁を架設→床版→**先に設置済みの桁と合体**→①②間の間詰作業と舗装を施工→歩道の施工で完成。



まだ新橋の橋脚のみ



仮橋への供用を開始



桁の色は古代朱(黒っぽい落ち着いた朱色)です

1期施工分の橋台が完成